

## 事務事業評価における総括

部 局 名	都市部	記入責任者	榊原 敦
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>都市部の政策的事業は、19 事業のうち 16 事業で S 評価、1 事業で A 評価としていることから、おおむね順調に進捗しています。しかし、C 評価とした景観みどり課の民有地緑化推進事業があることから、政策・施策目標の達成に向けて、再度事業の見直しを行う必要があります。</p> <p>なお、景観みどり課の鉄砲道の沿線景観形成事業については、平成 28 年度～30 年度の 3 箇年で鉄砲道（雄三通り～学園通り、延長 2,120 メートル）の街路樹リニューアル工事を行い、市街地の延焼遅延効果を向上、海岸エリアの都市景観の軸となる空間の創出について、一定の成果がありました。事業は平成 30 年度で完了しているため、実績なしとしました。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C 評価とした民有地緑化推進事業については、令和元年度から「みどりのまちなみ推進補助金」の運用を開始しましたが、制度改正 1 年目であることから、実績が 1 件と伸び悩んだと分析しています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた各事業の今後の方向性について】</p> <p>「ちがさき都市マスタープラン」、「茅ヶ崎市景観計画」及び「茅ヶ崎市みどりの基本計画 生物多様性ちがさき戦略」について、“茅ヶ崎らしさ（茅ヶ崎の価値・魅力）”を高めるという共通のコンセプトのもと、市民や事業者、また庁内関係課と連携して取り組み、官民連携したまちづくりを継続して進めます。</p> <p>今後の具体的な取り組みとしては、持続可能な交通政策のあり方について、継続して見直し、再検討を行うとともに、加えて、新型コロナウイルスによる、いわゆる「新しい生活様式」への移行にかかる対応についても必要と考えています。人々の移動方法の変化を的確に捉えつつ、それに応じた交通政策とするために改めて検討していきます。特に、コミュニティバス運行事業やちがさき自転車プラン推進事業については、その影響を大きく受けると考えられるため、従来の取り組みの見直しとともに、新しい取組についても積極的に検討していきます。</p>			